

令和3年度 研究集会

今回の研究集会の事例発表は、新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定しておりました集会形式から書面へと方法を変更致しました。

尚、集会形式で行われた際は、事例発表に加えて自衛隊大阪地方協力本部による防災講話を予定しておりましたが、残念ながら叶いませんでした。

各校PTAの取り組みは、今後の活動に際しまして貴重な資料となります。

「近年のPTAの取り組みについて」

島本高校 PTA会長 山縣 薫

島本高校は1974年に創立し、2023年で50年目を迎えます。

本校がある島本町は四季折々の表情を見せてくれ、自然をすぐそばで感じられます。そんな環境で生徒たちは学んでいます。

島本高校では地域との交流に力を入れています。様々な団体と意見交流をする場を設けたり、イベントに参加しています。



(写真②)
地域の方々と年間2回(7月、12月)の第一日曜日)、地域清掃を行います。学校周辺や通学路を中心に掃除をします。

2学期終業式の日に、PTAのあいさつ運動を正門やJR島本駅前で行っています。そして終業式後には各クラブ員と有志による地域清掃を行います。生徒会が中心となつて各クラブの清掃ルートを振り分け、指示を出していきます。その後、豚汁と災害備蓄米を利用した炊き出し訓練も行い、清掃から帰ってきた生徒たちに配布しています。災害備蓄米がない場合には豚汁にうどんを入れてボリュームを出したりするなど、その年の実行委員会メンバーで決定しています。非常に好評で、おかげりをする運動部員も多く、あつという間になくなります。

そうした活動以外にも、ソフトバレー、ボル大会への参加や社会見学の実施、こういった機会で初めて体験したものもあるという参加者の声も聞かれます。ま

選会(くじ引き)の販売を任されていました。いつも長蛇の列ができ、交通整理と販売で大忙し、飛ぶようにくじが売れていくので、参加したPTAの保護者からはかなり忙しかったけど満足感があるといった声を聞きます。

この2年ほど新型コロナウイルスの影響により、従来のような形での活動はできなくなつてはいますが、焼き出しの豚汁はおにぎり購入、配布にするなど、実行委員会メンバーが知恵を絞つて実のある取り組みとなるよう、創意工夫を凝らしています。

簡単にではありますが、本校の活動についてご紹介できる機会を与えてくださつたことに感謝申し上げます。

「コロナ禍、PTA活動に於いて出来なかつた事、出来た事」

阪南高校 PTA会長 谷口 直樹

はじめに

阪南高校が開校した昭和34年(1959年)当時、周辺は田畠が広がる田園地

帯で、現在のよう

に高層住宅やマン

ションが建ち並ぶ

景観になることな

ど想像もつかな

い、のどかな環境でした。

以来60数年を経た阪南高校は成熟

た、本校美術講師による陶芸体験、講師をお招きし様々な講習会を開いたりしました。2月には卒業式に花を添えるとということで、保健美化委員の生徒と共にPTAとして植栽を行っています。

卒業式の後には、制服リサイクルにも取り組んでいます。

この2年ほど新型コロナウイルスの影響により、従来のような形での活動はできなくなつてはいますが、焼き出しの豚汁はおにぎり購入、配布にするなど、実行委員会メンバーが知恵を絞つて実のある取り組みとなるよう、創意工夫を凝らしています。

簡単にではありますが、本校の活動についてご紹介できる機会を与えてくださつたことに感謝申し上げます。

「文化祭」

PTAは例年、バザー、阪南

オリジナルタオ

ル、パンの販売、

ゲームコーナー

の運営などで参

加しておりますま

す。文化祭を通じて学年の壁を

越えて皆で楽し

く交流できる貴重な機会でしたが、一昨年はコロナ禍で文化祭が中止となり、昨年は生徒のみでの文化祭となつたため、PTAは参加が叶いませんでした。PTAとしては、子どもの卒業と共に文化祭の経験者が少なくなるため、準備や運営方法の継承が今後の課題となります。

「進路教養委員会」

進路の情報を発信したり共有したりす



るべく、保護者を対象とした大学見学のバスツアーを企画しました。例年2つの大学をまわって、学校説明、施設案内、食の体験をしていただいておりました。ほかにも、教養を深めるため、委員らで案を出しあって、工場見学、観劇、日本の伝統文化に触れる機会を設けてまいりました。コロナ禍ではその代替企画として外部から講師をお招きし、保護者を対象とした進路講演を行い、受験生の親としての心構えについて学ぶ機会を得ました。

【環境保健委員会】

毎年、花壇にチューリップの花を咲かせております。校門の正面なので、生徒たちの目を楽しませることができるだろ

うと、委員が一丸となつて汗を流し植え込んだものです。いま振り返りますと、この花壇整備が、コロナ禍において唯一PTAらしい活動であったと思います。

【広報委員会】

広報委員会では年2回、ホームペー

ジにPTA便りをアップしてきました。しかし、コロナ禍で学校行事の中止やPTA活動の制限が度重なり、活動自体が著しく困難な状況になりました。今年度はいろいろな動きが期待できますから、これまで抑圧されていた反動で伸び伸びと活動したいと思います。

【学年委員会】

学年委員会では、毎年2月に2年生の保護者向けに、外部から講師をお招きして大学予約奨学金について説明会を行なっております。また、学年別に学年主任の先生や担任の先生を囲んで交流する学年懇談会を行っております。

「ともに学び、ともに楽しむ PTA活動」

泉北高校 PTA会長 横川友子

上げる案を話し合い、活動しています。本部役員会は、学年の垣根を超えて、継続性を考えて、3学年で構成されています。「無理せず、皆でカバーする」ことにより、一致団結し、自校の活動だけでなく、外部の研修会や大阪府、近畿、全国のPTA大会にも参加しています。主な本部役員会主催の活動は、大学見学会、本部役員講座です。本部役員講座は保護者より要望を受け、「1、2年生の保護者を対象とした進路資金の講座」を平成27年度より継続し、令和3年度もこのテーマで開催しました。

各種委員会は選ばれた学級委員の方々が、いずれかの委員会に所属し、活動をしています。△文化委員会は、学校祭を中心に行なうと、委員が一丸となつて汗を流し植え込んだものです。いま振り返りますと、この花壇整備が、コロナ禍において唯一PTAらしい活動であったと思います。

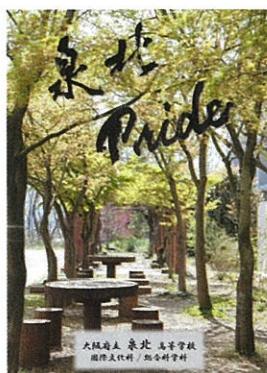
【おわりに】

コロナ禍でも泉北生と先生方は「ど

うしたらできるか?」を考え、取り組まれていました。令和2年度、3年度は異例のPTA活動でしたが、我々も先生方と相談しながら活動しました。

PTA活動に参加することは、学校の様子が分かり、子どもの活躍を知ることができ、そして、子どもと共に学校生活を楽しめる機会だと令和3年度の活動でさらに強く思いました。

「ともに学び、ともに楽しむ」我々保護者もPTA活動をとおして、子育て青春期を楽しみましょう。



泉北高校 PTA会長 横川友子

本校のPTAは本部役員会と文化委員会、広報委員会、国際親善委員会の3つの委員会からなります。全体会議は

本校のPTAは本部役員会と文化委員会、広報委員会、国際親善委員会の3つの委員会からなります。全体会議は

本校のPTAは本部役員会と文化委員会、広報委員会、国際親善委員会の3つの委員会からなります。全体会議は



「ともに学び、ともに楽しむ」我々保護者もPTA活動をとおして、子育て青春期を楽しみましょう。

△国際親善委員会は、本校の特色でもある国際交流のお手伝いをさせていただ

く活動をしています。長期留学生の日本語サポートや日本文化講座等の企画、サ

ポートをしています。委員の皆さんのが意分野を活かし、留学生をおもてなしの心で迎える活動をしています。令和3年

度はドイツからの留学生のために日本文化講座を開催。書道体験や着物の着付け体験、日本の遊び体験、クラスメイトと記念撮影等、本校での思い出作りのお手伝いをさせていただきました。

人権啓発研修会

嵯峨根 望氏
公式 YouTubeURL <https://bit.ly/3jROeHa>

嵯峨根さんは先天性四肢障がい児として生まれ、生後間もなく、手を手術。その後も右足、左足とそれぞれ手術し、3歳から義足を装着。保育園の頃は、自分を「人とは違う、選ばれたスーパー マン」と思っていたそうです。小学生になると同級生に障がいがあることに心ない言葉をかけられ、足のことを隠すように。しかし、中学生の頃、暑さに耐えきれず、友人に義足を外してもいいかと尋ねたら、「やつと見せてくれるのやな」と告げられ、話したことで、障がいは隠さなくて

いいんだと思うことができ、「無敵」になつたそうです。障がいがあることで受けた差別を多くの友達に助けられ、ありのままの自分を受け入れる様はまさにスーパーマンです。そのスーパーマンの周りに集う友人達の素晴らしい絆に感動を覚え、元気をもらつた

しました。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思うようにPTA活動ができず、悩ましい日々でしたが、感染対策を講じ、安全を配慮して上で開催いたしました。

嵯峨根さんは先天性四肢障がい児として生まれ、生後間もなく、手を手術。その後も右足、左足とそれぞれ手術し、3歳から義足を装着。保育園の頃は、自分を「人とは違う、選ばれたスーパー マン」と思っていたそうです。小学生になると同級生に障がいがあることに心ない言葉をかけられ、足のことを隠すように。しかし、中学生の頃、暑さに耐えきれず、友人に義足を外してもいいかと尋ねたら、「やつと見せてくれるのやな」と告げられ、話したことで、障がいは隠さなくて

いいんだと思うことができ、「無敵」になつたそうです。障がいがあることで受けた差別を多くの友達に助けられ、ありのままの自分を受け入れる様はまさにスーパーマンです。そのスーパーマンの周りに集う友人達の素晴らしい絆に感動を覚え、元気をもらつた

そして、東京2020パラリンピックでの試合や選手村の様子などもお話しくださいました。シッティングバレー

ボールは、まだあまり認知されていませんが、パラリンピックでは楽しいスポーツであることを伝えたかったので、

ボーリングでは楽しいスポーツで、スマートでプレーしようと心掛けたそうですが、ルールを知れば健常者も楽しめる

ことができますか?」と質問もでるほど興味を持つていただけました。

「もう、ここにいる皆さんは僕と友達ですね」と嵯峨根さんが参加者に向かって気さくに話しかける様子は、障がい者と健常者との垣根は無いと証明する講演でありました。講演後は嵯峨根さん

に参加者が集まり、

講演の依頼で

か、お話をされていました。大阪府立高等学校PTA協議会では、会員の皆様のお役に立てる情報をこれからも提供してまいります。(樋川)

広報紙コンクール結果

当協議会が募集しました広報紙コンクールに、38校の単位PTAからのご応募をいただき、ありがとうございました。協議会役員会において審査を行い、その中から5校が優秀であると決定いたしました。

選ばれました5校には令和4年度総会において表彰を行います。

大阪府立高等学校PTA協議会表彰

住農	吉	高校
久米田	北	高校
佐野	高校	高校

また、近畿地区高等学校PTA連合会の広報紙コンクールに5校を推薦いたしました。

近高P連の審査結果は次のとおりです。

近畿地区高等学校PTA連合会表彰 (奨励賞)

佐野	高校
----	----

来年度も各校からのご応募をお待ちしております。

編集後記

コロナの影響により昨年同様にPTA集会事例発表が対面で開催できず、らしんばん第83号の発行も断念しかけていましたが、一部の役員の尽力もあり無事発行することができました。ご協力いただいた皆様にはこの場を借りて改めて感謝申し上げます。

ご承知のように4月1日より成人年齢が引き下がられ、高校在学中に多くの生徒が

成人することになります。国外に目を向けると、コロナウイルスは相変わらず全世界で感染拡大を続け、ウクライナではロシアの軍事侵攻があつたりと悲しいニュースが絶えません。「普通の日常生活」というものが如何に尊いものであつたかを改めて思い知らされるのと同時に、時代の変化のよう

なものを感じざるをえません。

本文にもあるように7月に近畿地区高等学校PTA連合会大阪大会が開催されます。

この時期の大規模イベントには賛否あると思いますが、テーマである「未来創造」について考えるには良いタイミングではないかと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。合わせて今後とも当協議会への理解ご協力よろしくお願ひいたします。

大阪府立高等学校 PTA協議会の団体補償制度 「高校生総合補償制度」・「自転車総合補償制度」

ポイント1 団体割引20%適用!

お子様のケガを24時間補償

ポイント3 育英費用補償・被害事故補償をセット

ポイント4 自転車事故に限定したプランもご用意しています

ポイント5 個人賠償責任補償は最大2億円・生徒だけでなくご家族も補償

ポイント6 安心の示談交渉サービス付き

(このご案内は概要です。詳しい内容はパンフレットをご参照いただき、ご不明な点があれば下記幹事取扱代理店までお問い合わせください。)

中途加入を随時受け付けております。

中途加入のお申込みは下記幹事取扱代理店までご連絡ください。

幹事取扱代理店 損保ジャパンパートナーズ株式会社大阪支店

〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-1-2 電話0120-809-805 (受付時間: 平日9-17時)

引受保険会社 (幹事) 損害保険ジャパン株式会社 (非幹事) 東京海上日動火災保険株式会社 AIG損害保険株式会社



「子どもは社会を映す鏡」。さあ、私たち大人ができることから「変身!」